

小郡市青少年育成市民会議だより

「大人が変われば、子どもも変わる」

第2号

2019年12月1日発行

発行者 小郡市青少年育成市民会議
小郡市小郡255-1小郡市役所内
0942-72-2111 (内線673)
携帯070-2371-1184

みんなに届け!僕の私のこの想い 「おごおりっ子からのメッセージ」を開催しました

おごおりっ子からのメッセージ



1月2日、小郡市文化会館大ホールにおいて、今年で27回目となる「令和元年度 おごおりっ子からのメッセージ」を開催しました。市内各小・中・高・特別支援学校の代表17人が、大人や社会に訴えたいこと、日常生活の中で感じていることや挑戦していること、研修体験等について発表しました。

(皆さんのメッセージの概要は裏面をご覧ください)

どの生徒も、大ホールの聴衆300人の前で、それぞれの想いを堂々と主張し、大人も考えさせられる内容に、会場からは惜しみない拍手が送られていました。

また、大原中2年の水谷朱里さん、鮫島美琴さん、牧尾咲来さんが、明るく丁寧な司会を務めてくれました。

また、式典では、「オアシス標語」表彰式も行われ、市内の小学生から届いた2,614編の標語から、優れた標語を応募した32人の児童と、多くの標語を提出してくれた3つの小学校に竹内会長から表彰状が送られました。



▲ オアシス標語
最優秀賞の磯野さん

◀ オアシス標語
受賞者の皆さん

令和元年度 オアシス標語 受賞者の皆さん

最優秀	大原小5年	磯野 真優	佳作	大原小1年	池田 隼	佳作	小郡小5年	野口 恋花	佳作	のぞみが丘小6年	成清 創
優秀	東野小2年	佐藤 来唯	佳作	大原小3年	松島 幸香	佳作	小郡小6年	新藤 泰斗	佳作	三国小2年	三原 悠愛
優秀	大原小6年	小野 あおい	佳作	大原小4年	江崎 海凧	佳作	立石小5年	田中 乃愛	佳作	三国小3年	市丸 沙奈
優秀	立石小6年	高井 良渉	佳作	大原小5年	渡邊 偉	佳作	のぞみが丘小1年	松尾 蓮	佳作	三国小3年	前田 遥香
優秀	のぞみが丘小6年	八谷 匠真	佳作	小郡小2年	妹川 莉桜菜	佳作	のぞみが丘小4年	野中 一知子	佳作	三国小6年	大村 晏子
優秀	のぞみが丘小6年	山本 華暉	佳作	小郡小2年	佐藤 龍心	佳作	のぞみが丘小5年	藤彩 乃	佳作	三国小6年	富田 明莉
優秀	御原小3年	長江 美結	佳作	小郡小3年	重松 夏妃	佳作	のぞみが丘小5年	横堀 愛	佳作	三国小6年	森松 美春
佳作	味坂小2年	春野 蒼空	佳作	小郡小5年	中村 倫太郎	佳作	のぞみが丘小6年	鈴木 心毬	佳作	御原小5年	柳 颯

学校賞 / 大原小学校 のぞみが丘小学校 立石小学校

(敬称略)

おごおりっ子からのメッセージ講評から

「みはる隊に見守られながら」御原小6年 伊奈 耕ノ介

地域ボランティアの「みはる隊」やBBクラブの方々との出会いから、地域の支えに感謝し、自分も地域のためにできることから行動をしていきたいと決意を語ってくれました。

「いいところみつけを広げよう」のぞみが丘小6年 西田 奏音

いじめをなくすために友だちのいいところみつけを始めています。いいところみつけノートが取組みが参考になりました。

「外国の方との関わり」三国小6年 後迫 健太

国籍を超えた仲間を増やし、ふるさと小郡の未来をよりよくしたいと述べてくれました。

「笑顔あふれる世の中になるために」味坂小6年 田中 陽菜

／「あいさつで笑顔とつながり」小郡小6年 草野 小雪

人と人がつながり笑顔があふれる世の中になりたいと考え、相手の気持ちに共感し受け止めることの大切さと、笑顔で明るい挨拶の大切さを教えてくれました。

「認知症の人と共にすごせる未来へ」大原小6年 児玉 羽音

／「安全なまちをつくるために」立石小6年 野 菜桜

共に高齢化社会が抱える問題に触れていました。認知症のある方との関わり方を提案したり、高齢者が引き起こす交通事故をなくし、自らも事故から身を守るために、集団登校の大切さや立石ウォークラリーの取組みの紹介をしてくれました。

「戦争を知り、平和な未来へ」東野小6年 里 優花

平和な未来をつくるためには、まずは戦争の恐ろしさを知ること、そして、戦争についてしっかりと向き合うことが大切だと、修学旅行で学んだことを話してくれました。

「人生の選択」宝城中3年 佐久間 ため

人生の大きな分かれ道に立った時、先が見えて安定した道より、先が見えずリスクはあるが、なんだかワクワクする道を選び挑戦していきたいと語ってくれました。

「当たり前への感謝」三国中3年 村上 菜穂

被災地朝倉へのボランティア活動の経験から、当たり前で暮らせる日常に感謝しなければならないと教えてくれました。

「自分にできること」立石中3年 志賀 優来

今まで苦労と我慢をさせてきたお母さんへの恩返し。お母さんを安心させ笑顔にすることが私の好きなことだと語ってくれました。

「考え方」大原中3年 安部 拓磨

プラス思考。日ごろ使っている言葉は現実になると言われます。肯定的で前向きな言葉を使いたいですね。

「心のバリアフリー」小郡中3年 田中 宏政

車いすバスケットボールの体験から、障がい者差別の問題についての考えを語ってくれました。私たちの心のバリアフリーについて振り返るきっかけとなりました。

「一つのきっかけ」小郡特別支援学校高等部3年 稲吉 愛

支援学校で児童生徒会に入り活動することで自信を持てるようになったこと、信頼できる先生や尊敬できる先輩、語り合える友達との出会いを通して、どんな小さなきっかけでもチャレンジすれば一歩前に進むことができる、挑戦することの大切さを教えてくれました。

「夢を叶えるために」小郡高等学校1年 石橋 愛梨

石橋さんは中学校の先生になるという夢を持っています。その夢を叶えるために、今すべきことは何かを考えて一生懸命授業を受け、実践しています。

「次は私が！」三井高等学校2年 古賀 次穂

子ども食堂での子どもたちとの出会いや担任の先生にチアダンスを教えた経験から、小学校の先生になるという目標を持っています。石橋さん、古賀さんは共にすばらしい先生になってくれることでしょう。

「第39回小郡三井少年の船に参加して」のぞみが丘小6年 池田 結衣

知らない者同士、苦しいことや楽しいことを共にした集団生活や大自然との出会いの中で、人間としても大きく成長された姿がうかがえました。

『令和元年度 おごおりっ子からのメッセージ』で発表されたメッセージ全文は、小郡市青少年育成市民会議のホームページでご覧になれます

<http://seisyounen.ogori.net/>

校区実践発表会

小学校校区ごとに青少年健全育成の取組を「校区実践発表会」で発表してもらっています。年に一度の機会です。たくさんの皆様のご来場お待ちしております。

日時: 令和2年2月1日(土)

12時30分開場 13時開会

会場: 小郡市生涯学習センター七夕ホール

❖ 実践発表会 13:10～13:40
御原校区協働のまちづくり協議会青少年育成部会
青少年の健全育成の取組を発表していただきます。

❖ 講演会 13:50～14:50

矢野大和さん

「地域で子育てを」をテーマにご講演いただきます。



プロフィール

現在、大分県宇目町の鷹鳥屋神社の宮司。長く宇目町役場の生涯学習課に勤めておられましたが、落語好きが高じて口演活動が評判となり、今では、おおいた観光特使として各地を飛び回っておられます。